

Hygge

ヒュッゲ

2019.8.17 sat. → 9.1 sun.

あいちトリエンナーレ 2019

パートナーシップ事業

後援：愛知県立芸術大学美術学部同窓会

協力：カンディハウス名古屋

会場：カンディハウス名古屋

時間：11:00 - 18:30 (水曜・定休日)

ヒュッゲとはデンマーク語で「人と人のふれあいから生まれる 心地いい雰囲気」というニュアンスの言葉だといいます。私たち愛知県立芸術大学デザイン科8期の6人は、ながくデザインの仕事に就いてきました。デザインとは何か、分野も範囲も解釈もそれぞれですが、結局、行き着くところ「心地いい環境を作りたい」というシンプルな思いなのではないでしょうか。それがいわゆる一般に認識されているデザインだけではなく、絵だったり、写真だったり、アートだったりと表現はさまざまですが、愛知芸大でデザインを学んだ礎は、確実な土台となり、心地いい雰囲気、空間、人間関係をつくりあげていると信じています。

参加者紹介



秋田 道夫
Michio AKITA

大阪市出身。
プロダクトデザイナー。
最近の薄くて小さい信号機はわたしのデザインです。

実は小型化の最大の利点は、空が広く感じられる事です。取手のない土鍋は、その存在を消して「料理」を主役にしますし、収納もコンパクトです。
ルーペも、本や新聞の邪魔をしないかたちであり誌面を明るく見やすくします。

わたしはいつも製品の反対側から発想しています。



稲葉 佳子
Yoshiko INABA

神戸生まれ。
ファイバーアーティスト。
ファイバーアートとは繊維を使用した作品のこと、私はファイバー

素材にこだわり制作をしています。ここ数年は0.05 mmの極細金属糸をネット状に織った素材を使用し、自然（植物）の形状を素材が持つ特性を生かして表現しています。金属の持つ光沢感、しなやかに自在に成形出来透通性もあるこの素材に挑戦中です。また植物の生命力、美しさを人生の生々流転と重ね合わせるのもテーマです。



江口 慎一
Shinichi EGUCHI

京都市出身。
写真家。
約10年間のサラリーマン生活の後、写真家となる。

マクロから風景まで幅広く創作活動を続けています。雑誌への寄稿、コンテストの審査、セミナーの講師などでアマチュア指導にも熱心に取り組んでいる。個展・写真集・著書多数。

日本写真家协会会员。
オフィシャルホームページ
<http://eguchi-shinichi.com>



北谷 しげひさ
Shigeo KITATANI

大阪生まれ。
イラストレーター。
アートディレクター。
今回の作品は、展覧会テーマであるヒュッゲ

(心地よい雰囲気)という事で、いつもとは少し表現を変えて、優しい水彩のトーンで制作しました。
描き下ろした能天気な動物達は、Hygge国の人々です。それぞれ個性的ですが、相手を尊重しながら暮らしています。可愛がって下さいね。今後、絵本にも展開しようと思っています。

ボローニャ国際絵本原画展入選。相模女子大学教授。



黒河 優子
Yuko KUROKAWA

兵庫県出身。
インテリアプロダクトデザイナー。
企業の商品開発と自社のオリジナル家具のデザインを行っています。

今回は美濃焼きの窯元の依頼で「新しい祈りの形」をデザインしました。コンセプトはリビングにも置きたいと思えるもの。伝統の技術に新たな技術を加えること。模倣を困難にすること。地場の特殊技術を持つ企業とのコラボレーションを計り地域の活性化に繋げること。活性化を求める地場産業に対し、デザイナーはどう答えを求めていくのか・・・



高橋 潤子
Junko TAKAHASHI

丹波篠山市出身。
グラフィックデザイナー。
グラフィックデザインは、如何に分かりやすく、端的に、美しく伝える

かが大切です。しかし、それがどんなにすばらしくても主役にはなれない側面があるのも事実です。今回の展覧会のポスターも自作ですが、展示では、そんなグラフィックとは対照的な、誰もがひとつは持っているお茶わんを主役に、お茶わんのもつ人を包み込む暖かさ、心地よいゆるさを、インスタレーションで表現しました。東京在住。



カンディハウス名古屋

〒460-0004 名古屋市中区
新栄町2-1 ノリタケ栄ビル2F
Tel: 052-957-3336

地下鉄東山線・名城線『栄』下車徒歩3分
名古屋鉄道瀬戸線『栄町』下車徒歩3分



お好きな椅子に座って聞く

アート & デザイントーク in カンディハウス

テーマ：「6名のそれぞれの表現について」

日程：2019年8月17日(土)13:30~15:00

定員：20名（要申し込み、無料）

連絡先：080-4082-9435 稲葉迄